

## 福祉施設を訪問して

### 一般就労に意欲的

- ・作業を通じ、就労に必要な力をつける事を目的としている。進路先として一般就労を選択できるよう5年間の通所期限を設けている。新規事業との連携歓迎。
- ・就労希望者が何名かいるが、細かな支援の必要を感じている。作業所・就労支援センター・ハローワークが役割分担し個別的な支援として取組めると良い。
- ・作業所で自信をつけながら就労にもチャレンジして欲しい。体調の安定している人を対象に相談支援体制を組みたい。複数の相談先があることは本人の安心にもつながる。
- ・10年前から就労を目指す施設として支援プログラムを組み、実施している。地元の商店主との交流の中から実習先を開拓し、就労につなげる努力をしている。

### 特に就労は考えていない

- ・利用者の何割かは就職経験があるが、それ以外の方は特に就職希望は出ていない。家族のニーズも居宅サービスの充実を求める声が多い。
- ・通所により、基本的な生活習慣を身につけるための支援を行い、社会参加と自立の促進を目的としている。
- ・利用者のうち若い世代には一般就労の経験をして欲しいと考えているが中高年層はリタイア後の安定の場という意識が強い。
- ・地元商店街への買い物、配達などを通じ、地域に自然と溶け込み生活していくことを目指しているため、一般就労への移行は特に意識していない。